



Daiwa House®
Group

『可能性を信じて』

大和ハウスライフサポート(株)

もみの樹・横浜鶴見

発表者：佐藤 紘子

パワーポイント：志賀 雄太

「事例報告に当たり、個人情報特定されないよう匿名化し報告する等、施設長およびご家族に口頭で説明し同意を得ました」



もみの樹・横浜鶴見

- ・介護付き有料老人ホーム 定員64名
2009年4月開設。
- ・近隣は住宅や学校、公園などがあり、
地域との関わりを意識した施設運営
- ・フロア別介護

1階 軽介助フロア

2階 重介助フロア

3階 認知症フロア



対象者：T様 80代男性 要介護5

家族構成：娘様一人

生活歴：東京都渋谷区幡ヶ谷生まれ。

横浜市港南区に一人暮らし

趣味：食べ歩き、ゴルフ、社交ダンス
社交ダンスにおいては大会にも
参加されている腕前です。

性格：人見知りがある。

女性に優しいがこだわりが強く照れ屋である。
自分の事は自分でやりたい。



2021年11月まではご自宅にて1人で生活。
家事全般を全てご自身でされていた。



2021年12月に脳出血で倒れ
横浜市立脳卒中センターに入院



2021年3月にもみの樹・横浜鶴見にご入居



【既往歴】

- 脳出血
(右麻痺・構音障害)
- 糖尿病
- 高血圧症



思うように話せない

やりたい事、
想いが沢山
あるのでは？

相手に伝わらない



聞き取れない



- 【食事】 1日3回の経鼻栄養。
お昼のみ経口摂取と併用
主食はご飯、副食が刻み
- 【排泄】 終日オムツ対応
- 【移動】 車椅子(リクライニング)
- 【活動】 ベット上寝たきり、全介助
- 【感情】 人見知りがあり、そっけない
終始イライラしているように見えてしまう
悲観的な言葉が多く聞かれた

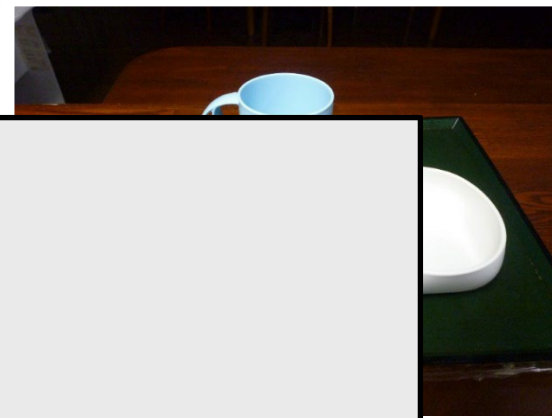


食べやすい位置に食器類をセッティング



滑りにくいお皿に変更

汁椀



しかし・・・

朝も



★問題点

- 朝の経管滴下中に排便
- 排便による覚醒
- チューブの違和感



3食経口摂取が出来たら...

看護師、言語聴覚士に相談

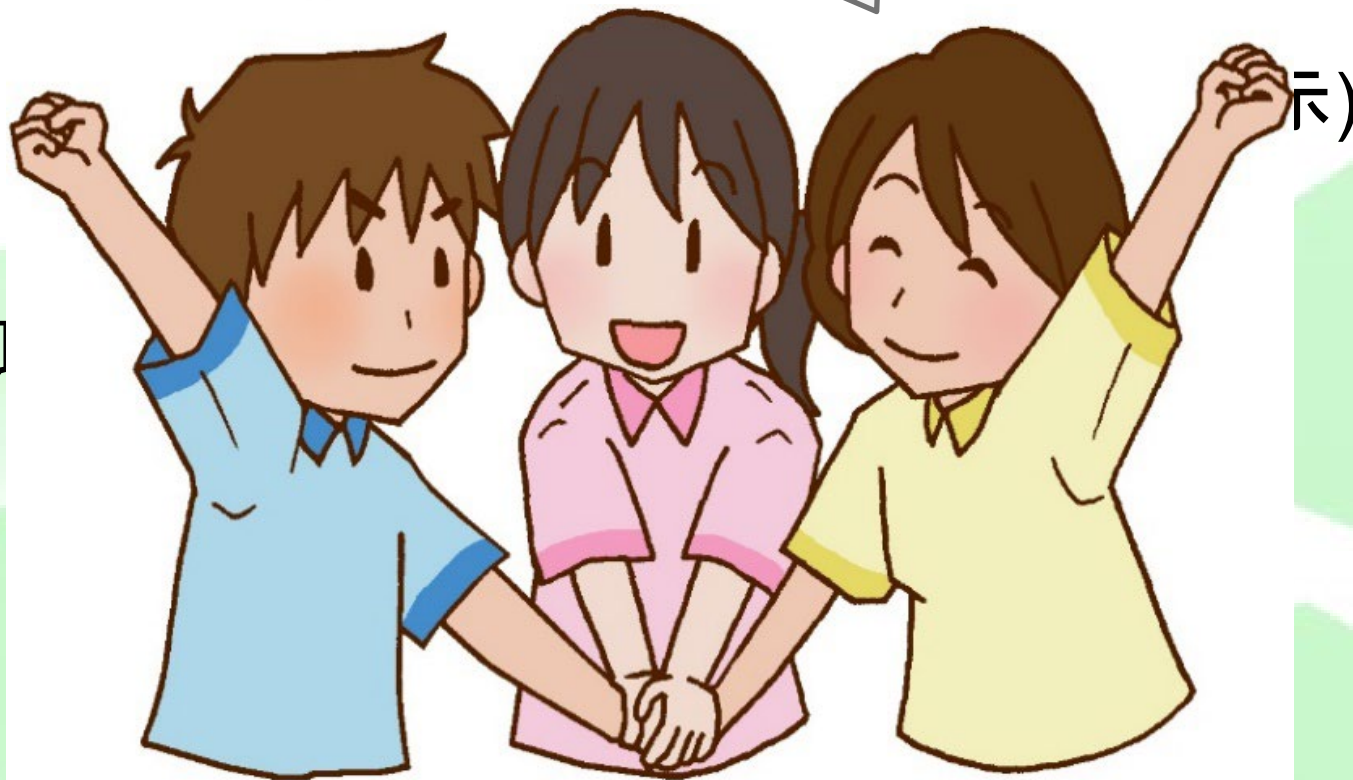


相談の

めざせ！！
3食経口摂取!!

- 看護師 → 糖尿病の薬剤服用

- 言語



- 看護師：血糖値測定（毎食前）
- 言語聴覚士による評価：定期的評価
- 昼食食形態：副食 ➡ キザミから一口大へ形態UP
- 食事の様子 ➡ スプーンで自己摂取（40分要す）



取組み1週間(3/3～3/10)で昼の経管栄養を中止する
内容





朝・昼・夕食前の血糖値測定継続、医師との連携



3/24 朝の経管栄養中止、朝の経口摂取開始

食事摂取量は毎食8割～10割摂取



食前血糖値は90～110と安定 (20分で摂取)



4/7 夕の経管栄養中止、夕の経口摂取開始



経鼻栄養を離脱する

医師に確認

リスク回避



職員に話しかける
回数増加

意欲的な思いを
聞いて欲しい

Ｔ様

嬉しい

スタッフ

信頼関係が
出来たかな？



歩けるようになって
お姉ちゃん達(介護士)と
どっかに行きたいな

T様の
夢や希望

家に帰りたいな



リハビリを
しませんか！
と提案する

まずはしっかり立てるようにしよう



ご本人「やるよ！」と笑顔で応える

- 作業療法士 ⇒POPO導入、関節可動域訓練
上肢機能訓練、立上り訓練
- 言語聴覚士 ⇒嚥下・言語訓練
- 介護士・看護師 ⇒生活リハビリ
（トイレ動作、車椅子の自走）
- 外部業者 ⇒訪問マッサージ



【免荷式歩行器POPO】

3/7より開始。

免荷30kgで立位保持、膝屈伸運動実施



3/24 免荷30kgで3m×2セット。



3/31 5m×2セット右下肢の振出しを
介助しながら歩行する。



5月に入り10m×2セット、
5月後半からは20m×2セット歩行可能。



6月からは30m×2セット歩行





【麻痺の評価(ブルンストロームステージテスト/6段階)】

ご入居当初はステージⅡ
肩や肘、手指の屈曲がわずかにできる程度であった。



2週間後の3/17にステージⅥ
分離運動が一部出現しこちないが、
自分の力で膝を曲げられるようになる。



現在はステージⅤ
手指の分離運動が主に出現しています。

【訪問リハビリ(自費)を6月より開始】

意識レベル回復とともに麻痺の回復がめざましく、
ご本人様の強い要望で安定した基本動作(起居、起立、歩行など)の
獲得によりADL向上をめざす為に週1回実施。



次はいつ？

木曜日に
来るんだよね



トイレに行きたい

車椅子を自分で
漕ぎたい



バーセルインデックス (Barthel Index : BI)

氏名：_____ 性別：(男・女) 評価日：____年__月__日 評価者：_____

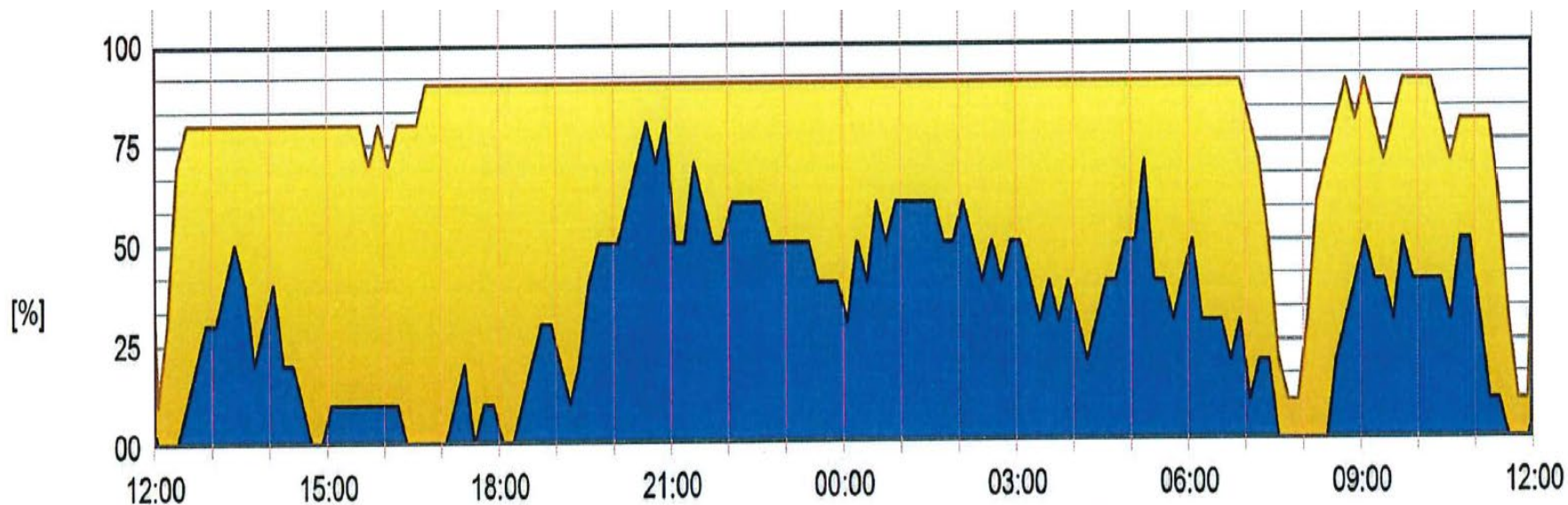
	点数	質問内容	得点
1 食事	10	自立、自励員などの装着可、標準的時間内に食べ終える	/10点
	5	部分介助(たとえば、おかずを切って細かくしてもらう)	
	0	全介助	
2 車椅子からベッドへの移動	15	自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む(非行自立も含む)	/15点
	10	軽度の部分介助または監視を要する	
	5	座ることは可能であるがほぼ全介助	
	0	全介助または不可能	
3 整容	5	自立(洗面、整髪、歯磨き、ひげ剃り)	/5点
	0	部分介助または不可能	
4 トイレ動作	10	自立(衣服の操作、後始末も含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む)	/10点
	5	部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する	
	0	全介助または不可能	
5 入浴	5	自立	/5点
	0	部分介助または不可能	
6 歩行	15	45m以上の歩行、補装具(車椅子、歩行器は除く)の使用の有無は問わず	/15点
	10	45m以上の介助歩行、歩行器の使用を含む	
	5	歩行不能の場合、車椅子にて45m以上の操作可能	
	0	上記以外	
7 階段昇降	10	自立、手すりなどの使用の有無は問わない	/10点
	5	介助または監視を要する	
	0	不能	
8 着替え	10	自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む	/10点
	5	部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分でやる	
	0	上記以外	
9 排便コントロール	10	失禁なし、洗器、坐薬の取り扱いも可能	/10点
	5	ときに失禁あり、洗器、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む	
	0	上記以外	
10 排尿コントロール	10	失禁なし、収尿器の取り扱いも可能	/10点
	5	ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む	
	0	上記以外	
合計得点 (/100点)			

バーセルインデックスは、日常生活に関する動作を、**全10項目100点満点で評価**します。
各項目を「自立」「部分介助」「介助」のいずれの状態か判断していきます。
点数が高いほど自立度が高くなります。

T様もご興味あり一緒に日常生活の中で出来るADLを評価してみました
T様は当初の合計点数**50/100**でした。
現時点では**55/100**です。
60点が部分自立であり、85点以上が自立としています

T様は排泄に関する項目が低く、トイレ動作も含め今後の課題となります。





2022/03/21 (月) 12:00 - 2022/04/04 (月) 11:59 の平均

就床時刻 14時19分 | 起床時刻 8時09分

睡眠時間 7時間40分 | 就床時間 17時間50分 | 睡眠潜時 85分 | **睡眠効率 42%** | **中途覚醒 502.3分**

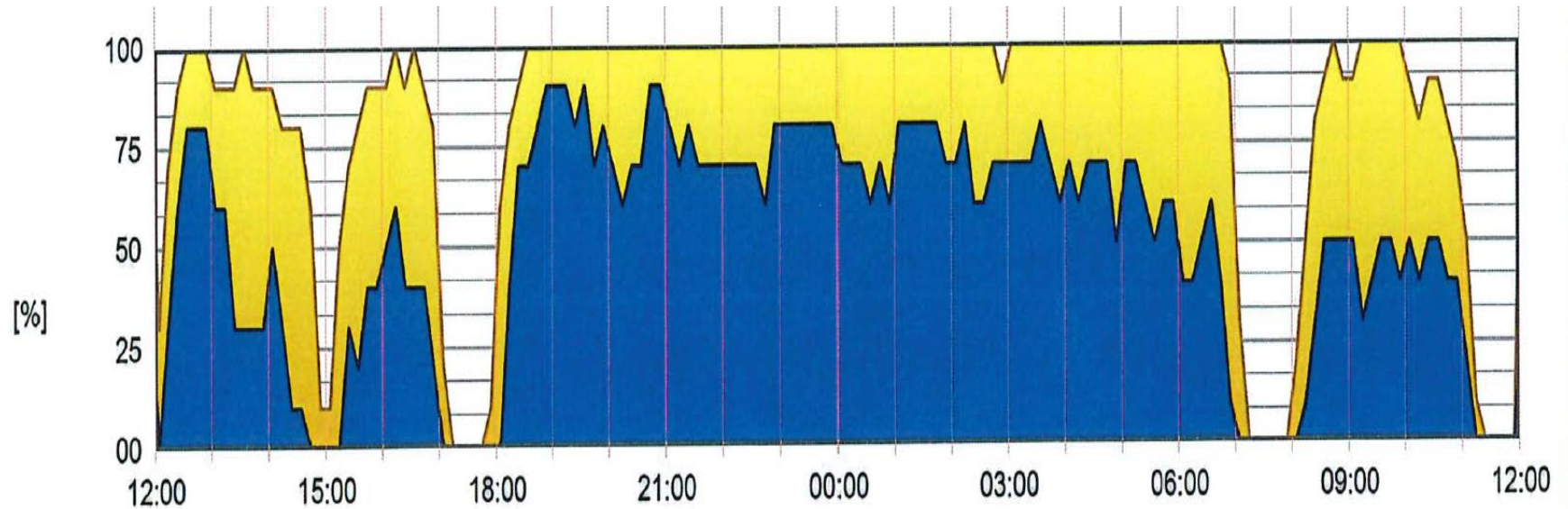
離床回数 0.2回 | 呼吸イベント指数 70.6回/時間 | 周期性体動指数 47.0回/時間

活動量 151.6count/分 | 呼吸数 13.8回/分 | 心拍数 65.7回/分



PARAMOUNT BED





2022/06/13 (月) 12:00 - 2022/06/27 (月) 11:59 の平均

就床時刻 18時03分 | 起床時刻7時03分

睡眠時間 9時間27分 | 就床時間13時間00分 | 睡眠潜時17分 | 睡眠効率72% | 中途覚醒171.1分

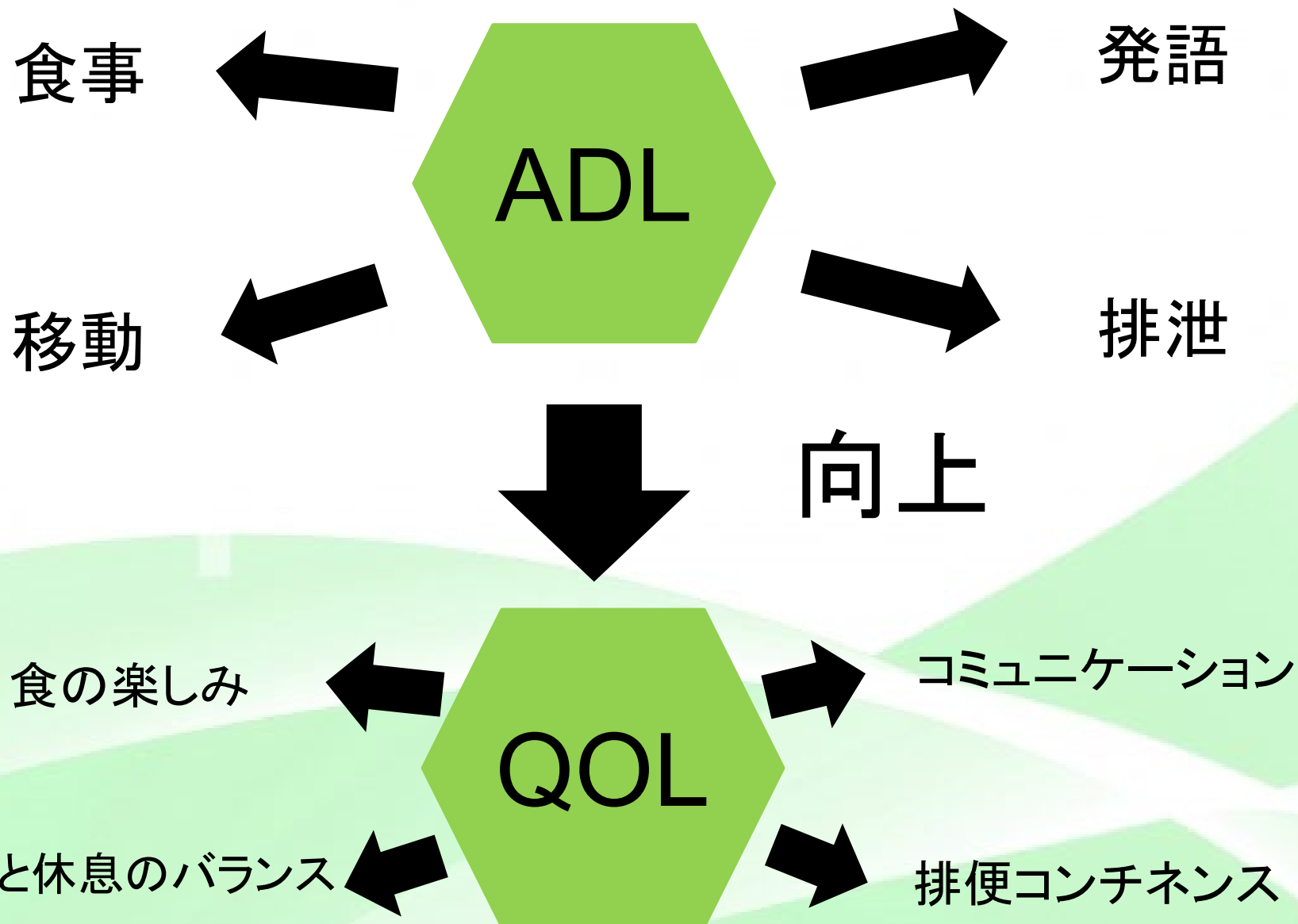
離床回数 0.1回 | 呼吸イベント指数44.1回/時間 | 周期性体動指数36.8回/時間

活動量 92.0count/分 | 呼吸数13.6回/分 | 心拍数61.4回/分

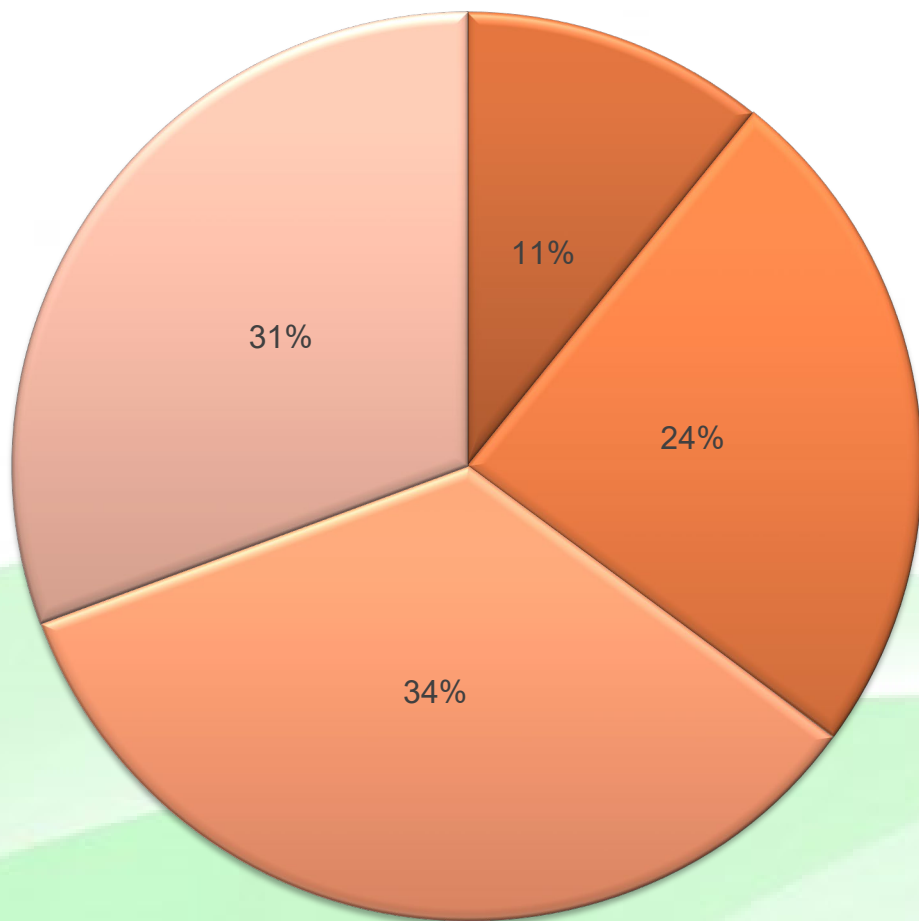


PARAMOUNT BED



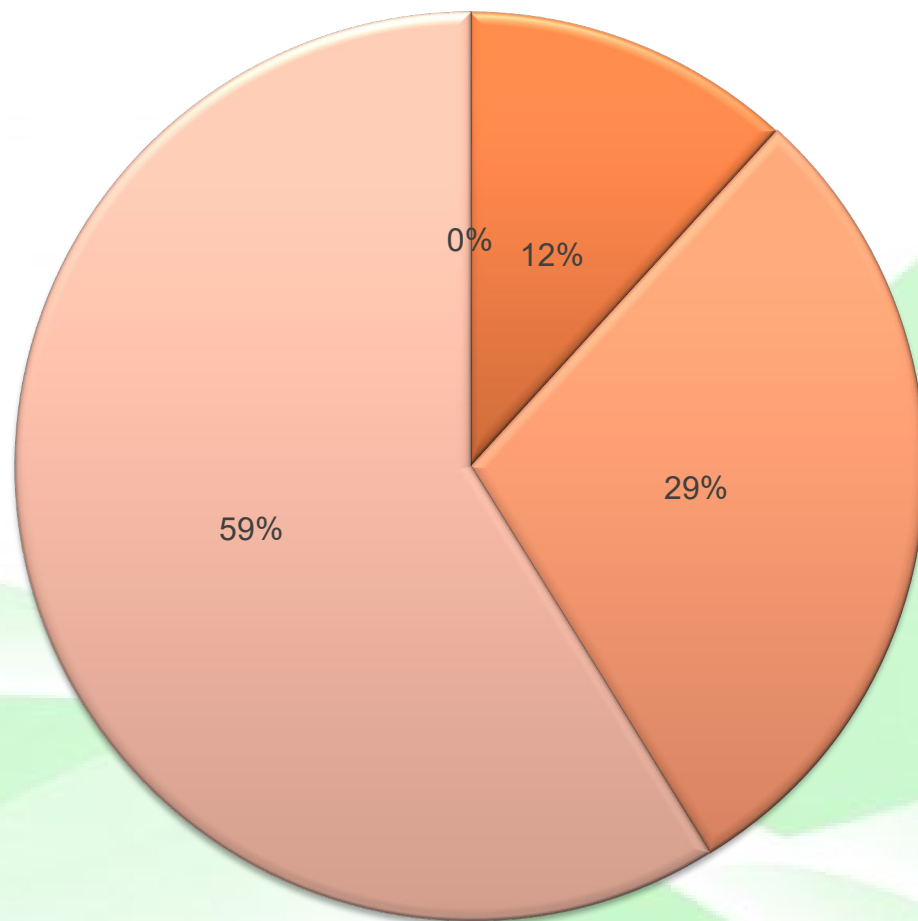


便の性状(3/2~4/30 84回)



■ 水便 ■ 泥便 ■ 軟便 ■ ふつう便

便の性状(5/1~7/31 70回)



■ 水便 ■ 泥便 ■ 軟便 ■ ふつう便



笑顔が増えた

念願の特別食を
食べられる様
になった

ぐっすり眠れるよう
になった



対象者選別
マニュアル

具体的な経口摂取移行
の取組みが必要

私達が口から食べる事を諦めない!!

個別性に応じた支援



もみの樹・横浜鶴見で良かった。

Daiwa House Group®



可能性を信じて





Daiwa House®
Group

ご清聴ありがとうございました

2022年10月28日

大和ハウスライフサポート(株)

もみの樹・横浜鶴見

参考文献

- ・日本静脈経腸栄養学会雑誌
- ・栄養ケアの取り組みとその効果:医療法人寿光会三好老人保健施設
- ・高齢者における身体活動と睡眠の関連性:北濃成樹

Daiwa House
Group

